

ほりかわ幼稚園の
公私連携幼保連携型認定こども園化
に係る意見交換会

日にち 令和4年11月12日（土）

場 所 堀川小学校 体育館

秦 野 市

秦野市では、幼児教育・保育の無償化の実施や共働き世帯の増加を背景として、保護者ニーズが教育利用から保育利用へと変化していることから、令和3年3月に「秦野市幼児教育・保育環境整備計画」を策定し、地域における教育・保育ニーズに対応するとともに、持続可能な幼児教育・保育環境の整備を進めています。

堀川地区では、ほりかわ幼稚園の園児数が減少する一方で、保育利用は年間を通じて保留児童が発生していることから、令和7年4月1日から、ほりかわ幼稚園を『公私連携幼保連携型認定こども園』に移行します。

なお、こども園化に当たり、令和6年度に民間法人による施設整備が必要なことから、令和6年度は堀川小学校の教室等を活用し、ほりかわ幼稚園を運営します。

1 こども園化する経過について

◇ほりかわ幼稚園の園児数の推移と今後の見込み

- ・ 令和5年度以降の園区内の幼児数は令和4年度に比べて約1割減少
- ・ さらに、令和8年度（116人）には、令和7年度と比べて約1割減少
- ・ 今後、1学級20人を下回る見込みであり、幼児教育上必要な集団性を確保するため、教育環境の総合的な整備が必要

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
在園児数	66	61	56	44	36	32	31
園区幼児数	151	136	140	143	128	126	133

（各年5月1日時点・5年度以降在園児数は推計値）

◇市内保育所等の入所状況

- ・ 年度当初から入所率が95%と高く、職務復帰等に合わせた年度途中からの申込みへの対応が困難
- ・ 特に、0歳児は、園によって受入れできる月齢が異なるため、年度末に向けて入所申込みが増えていく傾向が顕著

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	入所率
定員	258	375	447	480	492	495	2,547	
R3.4.1 現在	入所	110	355	432	479	505	2,409	95%
	保留	10	14	11	20	5	65	
R4.3.1 現在	入所	286	385	446	482	512	2,635	103%
	保留	79	22	36	23	5	171	

◇堀川地区の入所状況

- ・各年の4月1日現在において定員を超えて受入れをしている状況
- ・女性活躍推進法の改正を踏まえ、共働き世帯の更なる増加により、今後も保育ニーズは高まる見込み

年齢	定員	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
0歳	12	8	5	7	6	8	8	8
1歳	15	13	22	17	17	21	21	21
2歳	17	19	19	21	16	19	19	19
3歳	11	13	15	13	15	16	16	16
4歳	12	13	14	11	14	15	15	15
5歳	12	10	13	13	10	14	14	14
計	79	76	88	82	78	93	93	93
保留児童数		11	8	9	7	-	-	-
申込者数		87	96	91	85	93	93	93

※ 各年齢とも令和4年度までは入園者数・5年度以降は申込者数推計値

◇市外私立園の就園者数

- ・3歳児では各年度ともに概ね80人から100人程度で推移

	3歳児	4歳児	5歳児	合計	(参考) 私立園就園者
令和2年度	108 (550)	97	123	328	722
令和3年度	76 (512)	108	93	277	703
令和4年度	86 (467)	83	104	273	717
令和5年度	89 (460)	97	115	301	732
令和6年度	92 (481)	90	104	286	698
令和7年度	90 (468)	93	97	280	683

※ カッコ内は、3年保育の潜在ニーズ（保育利用除く幼児数）

※ 令和4年度までは実績・5年度以降は推計値

◇認定こども園の概要

- ・施設類型 公私連携幼保連携型認定こども園
- ・開園時期 令和7年4月1日
- ・定員 教育利用 60人 保育利用 50人

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
教育				20	20	20	60
保育	3	8	9	10	10	10	50
合計	3	8	9	30	30	30	110

- ・運営法人 社会福祉法人又は学校法人
- ・運営条件 統合教育・統合保育の実施、給食の提供、延長保育事業や一時預かり事業の実施など

2 令和6年度の園運営について

◇令和6年度の園運営に係る保育室等の配置（案）について

配置（案）を基に、施設面・運用面の両面から、教職員及び保護者などの意見を伺い、今後、詳細について決定していきます。

幼稚園機能配置（案）		
配置場所	保育室	<ul style="list-style-type: none"> ・現図工室を活用【体育館棟1階 約117㎡】 ・パーティションで2部屋に分割し、年少と年長の1クラスずつを確保（参考：園舎1クラス 約48㎡）
	職員室兼保健室	<ul style="list-style-type: none"> ・現図工準備室を活用【体育館棟1階】
	トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館棟1階玄関横トイレを活用 ・大便器6（大人用3、子ども用3）、小便器3
	幼稚園用昇降口	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館棟1階玄関を活用
	園庭	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭の一角を園庭として区分して活用
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・特別教室は常時使用するものではないため、園児・児童の生活動線を分離しやすく、それぞれの教育活動への影響が小さい。 ・1階であることから、外遊びや非常時などに外に出やすい。 ・昇降口が園専用となるため、登降園時の受け入れや引き渡しがしやすく、また、園と保護者の相談・連絡が行いやすい。 ・互いの職員室が近く、職員の連携が図りやすい。 	
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に暗い印象がある。 →照明設備のLED化を行うとともに、壁面工作などにより幼稚園らしさを表現 ・空調設備がない。 →保育室及び職員室兼保健室に空調設備を整備 ・理科室や家庭科室など特別教室には危険物がある。 →授業時間以外は部屋の施錠を行うなど安全を確保する。 	